



夢をかたちに  
MAKE DREAMS REAL

2008～2009年度国際ロータリーのテーマ

No.2

2008年7月16日 発行

# 高砂青松 Rotary Club

The Rotary Club of Takasago Seisho, Japan



## 定款・細則 決算・予算 承認

2007～2008年度決算審議

会計監査報告 大橋会員



定款・細則説明

2008～2009年度予算審議



## 米山功労者感謝状



本誌は、職場や家庭に持ち帰って、皆さんで一緒に読み下さい。



President

## 会長の時間

先週の就任挨拶の中で、ロータリーの目的とするところは、クラブ定款第4条に掲げられている「綱領」に集約されているとお話しさせていただきました。ロータリーに造詣の深い会員の皆様にとっては、「綱領」を違和感なく受け入れることができるのですが、私にとってはその表現に違和感を感じておりました。

昨年、2650地区から発行された「ロータリー情報マニユアル」に掲載されている訳文をご紹介します。「綱領」に親しむ一助になれば幸いです。会員名簿の裏表紙に記載されている「ロータリーの綱領」と照らし合わせて見てください。



### 「ロータリーの目的」

ロータリーの目的は、**有益な企業活動の基本として、奉仕理念を推奨し育成することである。**その詳細は以下の項目を奨励し育成することである。

1. 奉仕の機会を得るために、知り合いを開拓すること
2. 社会に奉仕する機会を得るために、事業および専門職務の高い倫理基準を保ち、世に有用な全ての職業の価値を認識し、ロータリアン各自の職業を威厳あるものにすること
3. 個々のロータリアンが自らの個人生活、職業生活、社会生活において、奉仕理念を実践に移すこと
4. 奉仕理念に結ばれた、事業と専門職種の人たちの世界的な組織を通じて、国際理解と親善と平和を促進すること

標準定款の「綱領」を「目的」と、「鼓吹」を「推奨」と、「奉仕の理想」を「奉仕の理念」と置き換えると共に、他の表現も若干変更しております。

少しは親しみやすくなったでしょうか。

本日の会長の時間を終わらせて頂きます。

### プログラム予定

7月16日(水)	7月23日(水)	7月26日(土)	8月6日(水)
各委員会事業説明	各委員会事業説明 (前週の続き)	納涼例会 【親睦委員会担当】	会員増強・ 職業分類委員会担当



Donation

## ニコニコ報告

### 鹿間 行雄

本日のプログラムは、定款・細則、決算・予算承認となっております。よろしく審議願います。

### 大森 千里

先週は早速の誕生祝をいただき有難うございました。立派な老人、75才になりました。

### 西野 勝(退会のお礼)

1979年から29年間、会員の皆様に大変お世話になりました。ありがとうございます。  
お別れのゴルフコンペには、優勝させていただき、また、ピンゴゲームにおいても優勝させていただき、良い記念とさせていただきました。昨年、病気を患い、ゆっくりした時間を過ごしたいと思い、退会を決意致しました。今後ともよろしくお願い申し上げます。

### 鹿間 虹美

小暑も過ぎこれから本格的に暑くなります。手を抜きながら通り過ぎるのを待ちましょう。

### 志方 正昭・大橋 卓司

王 彩麗さん、ようこそ!

### 竹原 俊三

「創立30周年記念誌」を次回例会(7月16日)に配布する見通しとなりました。編纂委員会のメンバーの皆さん、ご協力有難うございました。

### 中谷 利幸・中右 和宏・廣瀬 明正

### 嶋谷 拓雄・内海 薫・佐野 栄作

皆出席記念品ありがとうございます。

### 菱田 克己・増田耕太郎・井野 隆弘

花を飾りましょう。

### 濱中 幹雄

本日早退します。



Secretary

## 幹事報告

### 第2回 通算1366回

1. 岩手宮城内陸地震義捐金のお願い
2. 第26回インターアクト地区年次大会開催のご案内  
日時：8月18日~19日  
場所：姫路キャッスルホテル
3. 「友」インターネット速報が届いており

ます。

4. ザ・ロータリアン誌が届いております
5. 青年会議所より講演会の案内と夢ドリームフェスティバル2008の案内  
日時：7月27日(日)
6. 米山功労クラブ感謝状が届いています
7. その他(回覧)
  - ・観月能のお知らせ
  - ・社会を明るくする会より協賛
  - ・社会福祉協議会会費納入



Neighbor-club information

## 近隣クラブINFORMATION

クラブ名	変更内容	日時・場所
姫路ロータリークラブ	納涼家族例会の為	7/29(火) 18:30~20:50 於:姫路書写ゴルフ場
明石北ロータリークラブ	納涼例会のため移動例会	7/29(火) 7/27(日) 於:シーフード浦活
〃	休会(定款第6条第1節cによる)	8/12(火)
加古川ロータリークラブ	納涼例会のため移動例会	7/15(火) 7/17(木)
〃	休会(定款第6条第1節cによる)	8/12(火)
明石ロータリークラブ	納涼例会のため移動例会	8/6(水) 8/7(木)
〃	休会(定款第6条第1節cによる)	8/13(水)

## 例会記録 2008. 7. 9 (水) 通算1442回

ソング 「我等の生業」「歓迎歌」  
四つのテスト 社会奉仕委員会 矢野委員長  
本日のゲスト 王 彩麗 様



来訪ロータリ  
アン報告 脇谷 政孝 様 (高砂R.C.)  
大村 泰司 様 (高砂R.C.)

出席報告 7月2日 会員数 52名 欠席者 3名 出席率 93.75% <修正による>  
(この内出席免除者9名)  
7月9日 会員数 52名 欠席者 11名 出席率 77.08%  
(この内出席免除者9名)

## 播磨ゆかりの偉人伝 ②

### 美濃部達吉 気骨の憲法学者

神童とは、まさに彼のことをいうのだろう。明治6 (1873)年、加古郡高砂町 (現高砂市) に生まれた達吉は、高砂の小学校では、ずば抜けた成績を残した。6年の過程を、なんと飛び級を重ねて4年で修了し、小野中学 (現在の小野高校) へ入学。一高を経て、東京帝国大学 (現東京大学) 法科に入学した。

父親の秀芳は、漢方医を務めるかたわら、近くの子どもらに習字や漢字を教える先生。また、第二代高砂町長にも就任した。

ちなみに、経済学者で東京都知事も務めた美濃部亮吉は、達吉の長男。高砂市立高砂公民館には、達吉と亮吉の蔵書などが寄贈され、「美濃部親子文庫」として市民に公開されている。玄関前には二人を讃えたレリーフの銅版がはめこまれた記念碑がある。

大学を卒業した達吉は内務省に入り、26歳でイギリス、ドイツ、フランスの3国へ留学。3年後に帰国したあと、東京帝国大学の教授に迎えられた。

達吉を話題の主人公にしたのは、彼が論じた「天皇機関説」だった。明治憲法では、「天皇が絶対の主権者」とされていたのを、「主権は国家にあり、天皇は国家の最高機関にすぎない」と主張したのだ。

この説は多くの学者に支持されたが、のちに軍部から猛攻撃を受けることになった。ファシズムが進行するなか、「天皇を機関と呼ぶのは非礼もはなはだしい」と、著書3冊が政府によって発売禁止となり、貴族院議員も辞職するはめとなった。

戦後、新憲法制定に反対しながらも、日本国憲法の草案審議に携わった。決して風潮に流されない気骨の憲法学者だった。

(主な参考文献=寺林峻・著「播磨百人伝」神戸新聞総合出版センター)



会長 鹿間 行雄 幹事 岡本 崇司 クラブ会報委員長 菊地 敬子

例会日時 毎週水曜日 12:30 例会場 高砂商工会議所会議室 (2F)

事務局 高砂商工会議所内 〒676-0064 高砂市高砂町北本町1104 電話 (079) 443-0500(代)